

2024年11月14日

各位

会社名 株式会社サイフューズ
代表者名 代表取締役 秋枝 静香
(コード番号: 4892 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 経営管理部長 三條 真弘
<https://www.cyfusebio.com/contact>

2024年12月期業績予想の修正に関するお知らせ

直近の業績の動向等を踏まえ、2024年2月14日に公表した2024年12月期（2024年1月1日から2024年12月31日）の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2024年12月期の業績予想数値の修正（2024年1月1日から2024年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2024年2月14日発表)	百万円 605	百万円 △797	百万円 △724	百万円 △727	円 銭 △92.16
今回修正予想 (B)	60	△926	△901	△904	△112.76
増減額 (B-A)	△545	△129	△177	△177	—
増減率 (%)	△90.1	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2023年12月期)	61	△697	△586	△589	△75.42

2. 修正の理由

半期決算公表時（2024年8月14日）にてご説明の通り、末梢神経再生の再生医療等製品開発に関する医師主導治験の最終結果が良好であったことの発表^{*1} 及び再生医療等製品の上市に向けた事業化活動が着実に進展したこと^{*2}等を踏まえ、パイプラインの領域拡大及び製品ラインナップ（自家・同種（他家））等について見直しを行いました。

具体的には、提携パートナーと進める事業化活動において進展があったことから、より広い範囲で当社製品を選んでいただける製品ラインナップの拡大へ向けた開発を加速させることとし、当社の中長期的な企業価値向上の観点から、成長期における事業計画を一部修正することといたしました^{*3}。

これに伴い、前回の当初計画発表時点（2024年2月14日）において、今年度に見込んでいた業務提携等に伴う収益等については、当社製品の上市・商業化による収益最大化を図る観点から、製品ラインナップ拡大の要素を加味して次年度以降に見込むことといたしました。

臨床開発費及びその他の研究開発にかかる費用については、概ね当初計画どおりであるものの、同種（他家）細胞を原料とするパイプラインを含む複数の臨床試験の実施を控える当社の現状に照らし、臨床開発にかかる全体コストを精査いたしました。

その結果、再生医療等製品開発について、現時点において治験実施及び承認申請に向け順調に進んでいる状況にあるものの、複数パイプラインの臨床試験を実施することを考慮し、特に全体コストの変動に大きく関わる、試験の規模感及び試験開始時期を精査し、開発の効率化を図ることを主目的として、翌事業年度に企業治験を開始することといたしました。

以上の進捗を踏まえた業績予想の修正により、一時的には売上高減少の見通しとなりますが、事業化活動についてはいずれも順調に進捗していることから、製品上市の蓋然性及び上市後の収益性向上、将来の企業成長に向け、確実な進展を見込んでおります。

今後、当社の中長期的な事業価値向上に向け、業務提携等の当社独自のパートナーシップ戦略の進捗状況に応じて、業績への重大な影響が認められる場合には、適時適切に情報開示を行います。

*1 詳細は、2024年3月1日付PR情報「三次元神経導管の開発成果に関する三者プレスリリース」等をご参照ください。

*2 詳細は、2024年9月27日付PR情報「日本精工株式会社と製品製造工程の自動化へ向けた新技術開発に成功」等をご参照ください。

*3 詳細は、2024年3月27日付適時開示資料「事業計画及び成長可能性に関する事項」をご参照ください。

（注意事項）

上記に記載した予想数値は、本資料公表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上